事例No.	159
公表年度	H28
団体の属性	一般市
団体名	広島県庄原市

事例区分	第三セクター

タグ	・移住定住 ・会社法法人 ・少子化・人口減少

事例種類	民間企業の立地が期待できない地域における事業実施

事例内容・タイトル

空き家活用促進事業と縁結び事業による定住促進

出典

第三セクター改革等先進事例集

事例名	空き家活用促進事業と縁結び事業による定住促進
団体名	広島県庄原市
法人名	庄原市総合サービス(株)

＜地方公共団体のデータ＞※

人口(人)	37,548
標準財政規模(百万円)	19,606
財政力指数	0.26

※ 人口は、住民基本台帳に基づく人口(平成 28 年 1 月 1 日時点)
標準財政規模及び財政力指数は、平成 27 年度決算の数値

＜法人データ＞

[出資等の状況](平成 28 年 3 月 31 日時点)

庄原市	10(100.0%)
役職員数(人)	113

[経営状況](平成 27 年度決算)

(単位:百万円)

経常収益	651
経常損益	15
当期純損益	6

資産	245
負債	169
純資産	76

[法人概要](設立目的、業務概要等)

庄原市総合サービス(株)は、民間のもつ利点を活かし、民間の経営手法を用い、効率的且つ住民ニーズに応える公共サービスの提供及び公益的事業の一端を担うことを目的に平成 16 年 1 月、庄原市の 100%出資により設立され、公立保育所の指定管理業務、学校給食共同調理業務、庄原市一般廃棄物再生施設の管理運営業務、市指定ごみ袋指定ごみ袋製造・供給等の業務、その他公共施設の管理業務等を実施している。

その後、平成 28 年度より子ども子育て支援事業、空き家活用促進事業、しょうばら縁結び事業を開始した法人である。



1. 本事例の概要(取組の内容、ポイント)

当該事例は、定住促進対策として、空き家活用促進事業と縁結び事業を開始した事例である。

空き家活用促進事業や婚活事業は、民間企業の事業展開が期待できないため、行政が直営で取り組んでいたが、市職員による対応では専門性が不足していること、ノウハウの蓄積が困難であること、また、行政としては関与が困難な手続があるなどの課題があった。

そこで、市直営から委託にすることで、これらの課題を解消し、民間の経営手法とノウハウを生かした事業展開を行っている。

2．取組みの背景、理由、着手のきっかけ

本市では、定住促進対策を重要課題ととらえ、市長の政策である「庄原いちばん基本計画」に「空き家活用促進事業（空き家バンク制度）」、「しょうばら縁結び事業（追加）」を掲載、推進し、行政が直営で取り組んでいたが、市職員による対応では不動産の取り扱いに関する専門性が不足していること、ノウハウの蓄積が困難であること、また、空き家を直接管理することや、結婚という個人の領域に直接介入しづらいなど、行政として関与が難しいといった課題が指摘された。

3．取組の具体的内容

(1)取組方針とその決定過程

上記の指摘を踏まえ、設立より 10 年余を経過し運営基盤も安定した庄原市 100%出資の庄原市総合サービス（株）への委託が庁内で提案され、平成 28 年度から市直営事業から委託事業へ予算措置を行った。

(2)取組の具体的な進め方

庄原市総合サービス（株）への委託により、「空き家活用促進事業」、「しょうばら縁結び事業」ともに本社総務部に専従の職員（各 2 名）を配置し事業を展開している。

なお、実施にあたっては庄原市総合サービス（株）の定款変更（事業目的）を要した。

「空き家活用促進事業」は、平成 28 年度約 650 万円で業務委託を行い、市の空き家バンク管理システムを移行する中で、実態把握を行い、データベースの整備と情報提供により市内に存在する空き家等の利活用と維持管理を支援している。

【委託業務内容】

①管理システムの管理運営業務

市が導入する空き家バンク管理システムに係る、物件情報、入居希望者情報等の掲載・更新、メンテナンス等についての業者との協議・調整、管理運営。

②登録物件の現地確認業務

登録申請が提出された空き家物件の現地確認、登録に必要な情報整理と報告書作成。

③マッチング立会い業務（本業務の主務は宅地建物取引業免許の関係で、市が実施）

入居希望者の現地案内、所有者との面談についての調整と、市職員に同行しての内容記録。

④空き家バンクの登録に向けた物件情報の掘り起こし

登録可能な物件情報の収集と、登録に向けた所有者等との調整。

⑤プロモーションの強化

市等が実施する定住フェア等への参加により、制度利用を促進するための周知活動を強化。

「しょうばら縁結び事業」は、平成28年度からの事業として取り組むこととし、約900万円で業務委託を行い、縁結びコンシェルジュ配置と婚活希望者の会員登録制度を設け、婚活に役立つセミナーやイベント等の企画運営とホームページによる情報提供、個人情報の管理を行っている。

市は、平成 28 年度に企画振興部に市長の政策である「庄原いちばんづくり」を実現するセクションとして、新たに「いちばんづくり課」を設置し、ここが定住促進対策を所管しており情報提供及び事業管理を行っている。

3．取組の具体的内容（つづき）

【具体的な事業内容】
⑴セミナー（11 月末現在　参加人数 49 人（男：24 人、女：25 人））
①『女性向け魅力アップセミナー』（会場：庄原市内）（参加人数 13 人）
・メイクや浴衣の着こなし術を学んだ。参加者全員が、メイク・浴衣の着付け・ヘアアレンジ等を行ってもらえ、アンケートでは全員がセミナーの内容に満足したと回答。

②『広島女性向け魅力アップセミナー』（会場：広島市）（参加人数 12 人）
・里山スタイルをテーマに、広島女性に庄原市の魅力の紹介や、今後実施するイベントへの参加を見越した庄原男子のPRを行った。アンケートでは全員が参加して良かったと回答し、満足度が高かった。

③『男性向け魅力アップセミナー』（会場：庄原市内）（参加人数 24 人）
・市内独身男性向けに自分磨きのセミナーを実施。女性とのコミュニケーションのとり方やファッションについてレクチャー。アンケートでも概ね好評だった。

⑵イベント（11 月末現在　参加人数計 185 人（男：102 人、女：83 人）　マッチング数計　29 組）
①『しょうばら花火大会で縁結び』（会場：庄原市内）
・庄原夏まつり花火大会にあわせた出会いイベントを実施。浴衣の着付け、縁結びパーティーを行った後、花火を鑑賞。募集人数は男女各 20 人、計 40 人であったが、最終的に 99 人が応募し、抽選により参加者を決定。マッチングでは 6 組のカップルが成立。

②『ひろサポ×しょうばら縁結びコラボイベント』（会場：庄原市内）
・広島県の婚活事業とコラボした出会いイベント。男性はイベント前に、男塾「男子力アップ講座」を開催。当日の参加者は、男性 54 人、女性 34 人（内、市内 3 人）。マッチングでは 15 組のカップルが成立。

③『カープで縁結び』（会場：広島市）
・庄原市カープ応援隊を利用した出会いイベント。参加人数は男性 19 人、女性 20 人、計 39 人。マツダスタジアム隣接の屋内練習場3階の会議室を貸切り、パーティーを実施。マッチングでは、5 組のカップルが成立。

④『アウトドアで縁結び』（会場：庄原市内）
・アウトドア（山登り）をメインにした出会いイベント。30～40 代の男女合わせて 18 人（男女各 9 人）が参加。熊野農産物加工施設「イザナミ茶屋」で、比婆山にまつわる紙芝居を鑑賞後、熊野神社を参拝。その後、県民の森へ移動して、参加者全員で、昼食作りや山登りを実施。マッチングでは、3 組のカップルが成立。
　今後もイベントを予定しており、定住促進対策の一端を担う。

⑶縁結びコンシェルジュ
　地域で結婚を望む人の情報収集や会員登録の推進、他地域との情報共有による出会いの場を支援する「縁結びコンシェルジュ」を旧市町単位で設置。現在、8 名決定（庄原 2 名、他は各 1 名）うち男性 2 人、女性 6 人。毎月定例会を開催し、会員の掘り起こしについて確認し、情報共有を行う。

4．取組の効果

「空き家活用促進事業」については、主に市の実施では課題が多い取り組みについて、委託事業に併せ、事業者独自の取り組みにより実施され効果的で効率的な事業が展開されている。
①空き家の鍵の預かりを実施することにより、現地案内時の内部見学が容易になった。
②宅建業者等、民間の事業者との協議の場をつくり、連携に向けて協議が進んでいる。

「しょうばら縁結び事業」は、専任の縁結びコーディネーター配置により、効果的なイベントの企画、実施が可能となり、実りある結婚に向けてサポート体制が構築された。
また、合併前の地域単位に縁結びコンシェルジュを配置し、地域特性にあった個別紹介や相談にも応じている。

5．今後の課題（今後の方針、残された課題等）

本形態での事業実施は初年度であり、今後、具体的な成果指標により検証を行う必要がある。
「空き家活用促進事業」については、業務全体の改善が行われており、ノウハウを蓄積することにより、より効果的な事業展開が図られるものと期待される。
今後、宅地建物取引業免許を要する業務への対応の検討を要する。
「しょうばら縁結び事業」については、女性会員が伸び悩んでおり、会員が飲食店等で特典が受けられる協力店の充実など民間同士の連携による新たな取り組みにより機運の醸成に努めていきたい。また、縁結びコンシェルジュの育成に努め、会員に対するアプローチを強化する必要がある。

6．他団体の参考となり得る点（苦労した点、工夫した点、上手く進んだ理由、反省すべき点等）

本事業を委託することにより、民間手法による創意工夫において効果的な事業が展開でき、空き家所有者の利便性が向上するだけなく、定住希望者への提供環境の向上、空き家の荒廃抑制による公益性を有しつつ、かつ、株式会社の収益性も確保される事業となっている。
また、空き家の鍵の管理や縁結び事業における会員への踏み込んだサポート等、行政としては性質上展開が難しい取り組みについても実施し、成果が上がっている。

＜参考＞地方公共団体の問合わせ先

担当課	庄原市行政管理課	連絡先	0824-73-1112